

注意事項

- 1. 試験問題の数は75問で解答時間は正味1時間20分である。
- 2. 試験問題の持帰りを認めない。
- 3. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) 各問題には1から4までの四つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを一つ選び、次の例にならって答案用紙に記入すること。

(例) [問題 101] 県庁所在地はどれか。

- 1. 栃木市
- 2. 川崎市
- 3. 神戸市
- 4. 倉敷市

正解は「3」であるから答案用紙の

101 ① ② ③ ④ のうち③をマークして

101 ① ② ● ④ とすればよい。

- (2) 答案の作成にはHBの鉛筆を使用し、濃くマークすること。
 - 良い解答の例…… ● (濃くマークすること。)
 - 悪い解答の例…… ⊙ ⊖ (解答したことになる。)
- (3) 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり「✕」のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。
- (4) 1問に二つ以上解答した場合は誤りとする。
- (5) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

〔問題 1〕 ICM(国際助産師連盟)による「助産師のための国際倫理規定」の項目はどれか。

1. 生命尊厳
2. 出産への適切な介入
3. 助産の人間関係
4. 助産のインフォームド・コンセント

〔問題 2〕 リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念が生まれた背景で誤っているのはどれか。

1. 避妊の実施率は女性の方が低い。
2. 不妊に関して女性の方が精神的・社会的圧力が強い。
3. 女性の健康が子どもの健康に直接的影響がある。
4. 性感染症の感染率は女性の方が高い。

〔問題 3〕 羊水検査で胎児がダウン症候群であることが判明した。妊婦への助言で適切なのはどれか。

1. 妊娠中絶した方がよいと伝える。
2. 遺伝の専門家や小児科医に相談するよう勧める。
3. トリプルマーカー検査で確認するよう伝える。
4. 羊水検査は間違いが多いと伝える。

〔問題 4〕 思春期女子の第二次性徴で正しいのはどれか。

1. 第二次発育急進期は男子より約2年遅い。
2. 初経年齢のピークは精通年齢のピークより遅い。
3. 初経発来には一定値以上の体脂肪率が必要である。
4. 腋毛が発生し、初経が発来した後に乳房が発育する。

〔問題 5〕 女性の性機能障害で、分泌物がなく膣の拡張がないのはどれか。

1. 性的欲求の障害
2. 性的興奮の障害
3. オルガズム障害
4. 性交疼痛障害

〔問題 6〕 喘息の既往のある産婦に使用禁忌の薬剤はどれか。

1. オキシトシン
2. プロスタグランジン $F_{2\alpha}$
3. 麦角アルカロイド
4. 子宮頸管熟化薬

〔問題 7〕 エストロゲンで正しいのはどれか。

1. 排卵期に頸管粘液の粘稠度を促進させる。
2. 黄体期には分泌されない。
3. 骨吸収を促進させる。
4. 膣上皮細胞の角化を促進させる。

〔問題 8〕 妊娠中の薬物投与で正しいのはどれか。

1. 妊娠 3 週末までは受精卵に影響すれば流産する可能性が高い。
2. 非妊時に比べ薬物の排泄は遅延する。
3. 消化管は妊娠 8～12 週末ころに奇形を起こしやすい。
4. 心臓は妊娠 16 週以降に奇形を起こしやすい。

〔問題 9〕 我が国で行われている先天性代謝異常検査等(マス・スクリーニング)に含まれないのはどれか。

1. フェニルケトン尿症
2. 高アンモニア血症
3. クレチン症
4. 先天性副腎過形成症

〔問題 10〕 ヒトパピローマウイルス感染が関与するのはどれか。

1. 子宮内膜症
2. 乳 癌
3. 卵巣癌
4. 子宮頸癌

〔問題 11〕 HIV 感染で正しいのはどれか。

1. HIV 抗体が検出されるのは感染後6～8週である。
2. 感染後、数か月でAIDSを発症する。
3. HIV キャリア妊婦は分娩後AIDSの発症が遅くなる。
4. 無治療の場合、母子間の感染率は50～60%である。

〔問題 12〕 精巣での造精機能障害の原因で多いのはどれか。

1. 精索静脈瘤
2. 停留精巣
3. 精巣炎
4. 特発性(原因不明)

〔問題 13〕 着床で正しいのはどれか。

1. 受精卵が着床するのは増殖中期である。
2. プロゲステロンは着床に必須の物質である。
3. ヒトの受精卵は受精後 10 日目に着床する。
4. hCG は受精後 20 日ころ血中に検出可能となる。

〔問題 14〕 正しいのはどれか。

1. 羊水過多は羊水量が 600 ml 以上である。
2. BTB 試験は羊水の混濁度の判定法である。
3. 羊水鏡検査は胎児腎成熟度の判定法である。
4. L/S 比は胎児肺成熟度の判定法である。

〔問題 15〕 妊娠中の血液所見で前半期より後半期に低下するのはどれか。

1. ヘマトクリット値
2. 白血球数
3. フィブリノゲン値
4. 鉄結合能

〔問題 16〕 母体栄養と母児への影響との組合せで正しいのはどれか。

1. 葉酸不足 ————— IUGR (子宮内発育遅延)
2. ビタミン B₁ 不足 ———— 神経管閉鎖障害
3. ビタミン A 過剰 ————— 催奇形性
4. 鉄欠乏 ————— ウェルニッケ脳症

〔問題 17〕 妊婦の心理で正しいのはどれか。

1. アンビバレントな感情は妊娠末期に特徴的である。
2. 胎児への関心が最も高まるのは妊娠初期である。
3. 出産準備教育を受けることで、出産に対する恐怖心は消失する。
4. 妊娠の受容には夫や家族との関係が関連する。

〔問題 18〕 子宮峡部(下部)で正しいのはどれか。

1. 子宮頸部の一部である。
2. 組織学的内子宮口と解剖学的内子宮口との間をいう。
3. 陣痛開始後の頸管の開大に続いて展退が始まる。
4. 分娩発作時は恥骨結合から約 10 cm の高さである。

〔問題 19〕 分娩の前兆で正しいのはどれか。

1. 経産婦では初産婦より児頭が固定しやすい。
2. 初産婦ではまず内子宮口が開大し始める。
3. 産徴は絨毛膜血管が破綻して起こる。
4. 子宮筋のオキシトシンに対する感受性が低下する。

〔問題 20〕 産婦の身体的変化で正しいのはどれか。

1. 筋収縮作用の結果アルカローシスに傾く。
2. 血圧は分娩第 1 期に最も上昇する。
3. 胃腸の蠕動運動は亢進する。
4. コルチゾール値は分娩第 1 期から上昇する。

〔問題 21〕 産婦の出産体験で正しいのはどれか。

1. 出産準備が充分でない産婦は出産体験を否定的にとらえる。
2. 帝王切開術による出産は喪失体験になる。
3. 産婦を独りにしないことは出産体験を肯定的にとらえる助けになる。
4. 出産体験を肯定的にとらえていれば育児不安にならない。

〔問題 22〕 R. ルービンによる褥婦の心理的変化で正しいのはどれか。

1. 分娩後 24～48 時間は子どもの基本的欲求に関心が向けられる。
2. 基本的欲求が満たされて初めて子どもに関心が向けられる。
3. 産褥 2、3 日ころから心理的に依存的な状況へ移行し始める。
4. 産褥 1 か月ころまでに母親になる自分のイメージ作りができる。

〔問題 23〕 新生児で正しいのはどれか。

1. 誇張されたイントネーションの話し方に反応する。
2. 啼泣は悲しみの表現である。
3. 視力は焦点を合わせる能力に達している。
4. 砂糖水と蒸留水とを区別できない。

〔問題 24〕 正常新生児の呼吸循環生理で正しいのはどれか。

1. 肺水は生後肺内のリンパ管へ吸収される。
2. 出生直後の肺胞の拡張には 10 cmH₂O の圧力が必要である。
3. 生後の動脈血酸素分圧 (PaO₂) の上昇によって動脈管が開く。
4. 生後の肺血流量の低下によって卵円孔が閉鎖する。

〔問題 25〕 28歳の初産婦。妊娠24週で水様性帯下と子宮収縮とを訴えた。内診では子宮口は軟、閉鎖していた。経膈超音波検査で測定した頸管長は20mm。頸管粘液中のエラスターゼ活性陽性。BTBは青変しなかった。

最も考えられるのはどれか。

1. 前期破水
2. 頸管無力症
3. 絨毛羊膜炎
4. 細菌性膣炎

〔問題 26〕 羊水量が減少した際、形成が障害され臨床的に問題となる臓器はどれか。

1. 肺
2. 胃
3. 腎 臓
4. 膀 胱

〔問題 27〕 胎勢と先進部との組合せで正しいのはどれか。

1. 後方後頭位 —— 大泉門
2. 前頭位 —— 額 部
3. 頭頂位 —— 大・小泉門の間
4. 顔 位 —— 頤 部

〔問題 28〕 子宮頸管裂傷が発生する方向で多いのはどれか。

ただし、産婦の前方を0時、後方を6時、左方を3時、右方を9時とする。

1. 0時と6時
2. 1時半と7時半
3. 3時と9時
4. 4時半と10時半

〔問題 29〕 化膿性乳腺炎で正しいのはどれか。

1. 産褥 5～7 日に好発する。
2. 経産婦は初産婦より発症しやすい。
3. 乳房の熱感はあるが全身の発熱はない。
4. ブドウ球菌やレンサ球菌が検出される。

〔問題 30〕 産褥期の状態で正しいのはどれか。

1. 産褥熱とは 39℃ 以上の熱が 2 日以上持続するものをいう。
2. 産褥子宮内膜炎の初発症状は発熱と子宮の圧痛とである。
3. 肺動脈塞栓症の発症頻度は帝王切開より経膈分娩の方が高い。
4. 子宮復古は産褥 1 か月までに終了する。

〔問題 31〕 正期産の新生児で異常と判断するのはどれか。

1. 生後 12 時間の血糖値が 25 mg/dl
2. 生後 24 時間の血清カルシウム値が 10 mg/dl
3. 生後 24 時間のヘマトクリット値が 55 %
4. 生後 3 日の血清総ビリルビン値が 8 mg/dl

〔問題 32〕 新生児の所見と疾患との組合せで正しいのはどれか。

- a. 胆汁性嘔吐 ————— 腸回転異常症
 - b. 腹部膨隆 ————— 先天性横隔膜ヘルニア
 - c. 吐血 ————— 肥厚性幽門狭窄症
 - d. 口腔内の泡沫状唾液貯留 ——— 先天性食道閉鎖症
1. a、b 2. a、d 3. b、c 4. c、d

〔問題 33〕 在胎 26 週、820 g で出生した児に起こりにくいのはどれか。

- 1. 呼吸窮迫症候群
- 2. 胎便吸引症候群
- 3. 動脈管開存症
- 4. 未熟網膜症

〔問題 34〕 乳幼児期に嘔吐をきたす疾患はどれか。

- a. 食道静脈瘤
 - b. 臍ヘルニア
 - c. 腸重積
 - d. 髄膜炎
1. a、b 2. a、d 3. b、c 4. c、d

〔問題 35〕 図は分娩期の胎児心拍陣痛図である。

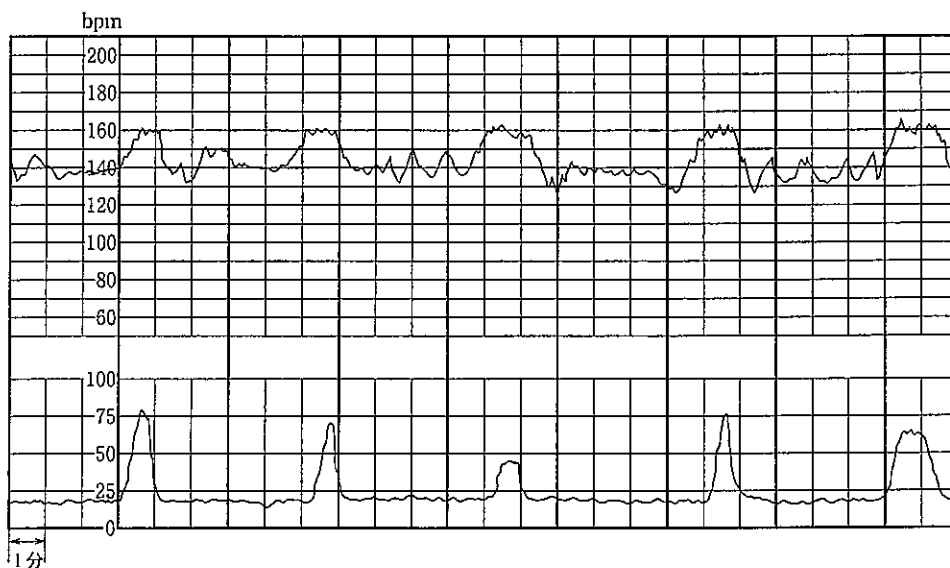


図 胎児心拍陣痛図

正しいのはどれか。

1. 胎児心拍数基線細変動が消失している。
2. 胎児心拍数基線は正常である。
3. 早発一過性徐脈がみられる。
4. 過強陣痛が疑われる。

〔問題 36〕 両親学級で適切でないのはどれか。

1. 夫が出産に立ち会うことを前提に参加する。
2. リラクゼーションや呼吸法を夫婦で体験する。
3. 主体的に取り組めるように夫婦でバースプランを作成する。
4. 陣痛室や分娩室を見学しイメージ作りを行う。

- 〔問題 37〕 思春期女子の月経困難症で正しいのはどれか。
1. 器質性月経困難症の方が機能性月経困難症より多い。
 2. 器質性月経困難症には心理療法が有効なことが多い。
 3. 機能性月経困難症は初経直後から始まることが多い。
 4. 機能性月経困難症には鎮痛薬の与薬が有効なことが多い。
- 〔問題 38〕 経済的理由による人工妊娠中絶で正しいのはどれか。
1. 手術時期は妊娠 13 週ころが望ましい。
 2. 手術費用は健康保険が適用になる。
 3. 手術直後にうつ傾向になることが多い。
 4. 手術後約 1 か月で月経をみることが多い。
- 〔問題 39〕 避妊法で正しいのはどれか。
1. 基礎体温法では高温相となったら妊娠の可能性はない。
 2. 産後の IUD は産後 6～8 週以降の月経直後に挿入する。
 3. 低用量ピルの効果に乳癌の予防がある。
 4. ペッサリーは性交後 3 時間を過ぎてから取り出す。
- 〔問題 40〕 妊娠期の身体的変化で正しいのはどれか。
1. 妊娠初期に拡張期血圧は上昇する。
 2. 妊娠初期の腔粘膜は血管の増生によって赤色を呈する。
 3. 基礎体温は妊娠 16 週ころから次第に下降する。
 4. 乳房は妊娠 20 週ころから増大する。

〔問題 41〕 BPS(Biophysical Profile Scoring)に含まれる項目はどれか。

- a. 筋緊張(四肢の運動)
- b. 胎動
- c. 臍帯動脈拡張期逆流
- d. CST(contraction stress test)

1. a、b 2. a、d 3. b、c 4. c、d

〔問題 42〕 妊婦のマイナートラブルへの対応で正しいのはどれか。

- 1. 腰背部痛には安静臥床を勧める。
- 2. 胸やけには糖質の多い食事を勧める。
- 3. 下肢の静脈瘤には下肢を挙上して休むことを勧める。
- 4. 下肢のけいれんにはカリウムの多い食事を勧める。

〔問題 43〕 出産手当金で正しいのはどれか。

- 1. 出産前 42 日から出産後 56 日の間で支給される。
- 2. 労働基準法によって支給される。
- 3. 出産費用にかかわらず定額で支給される。
- 4. 被保険者が未婚の場合は支給されない。

〔問題 44〕 26 歳の初産婦。妊娠 20 週の定期健康診査の超音波検査で前置胎盤の疑いと診断され、2 週後再検査することになった。

これからの生活で適切なのはどれか。

- 1. 特に制限はない。
- 2. 外出を控える。
- 3. 自宅安静とする。
- 4. 入院安静とする。

〔問題 45〕 妊娠中毒症の予防で用いられる低用量アスピリンの使用目的はどれか。

1. 鎮 静
2. 血栓溶解
3. 血小板凝集抑制
4. 浸透圧利尿

〔問題 46〕 妊娠 38 週 0 日。図は外来での胎児心拍陣痛図である。

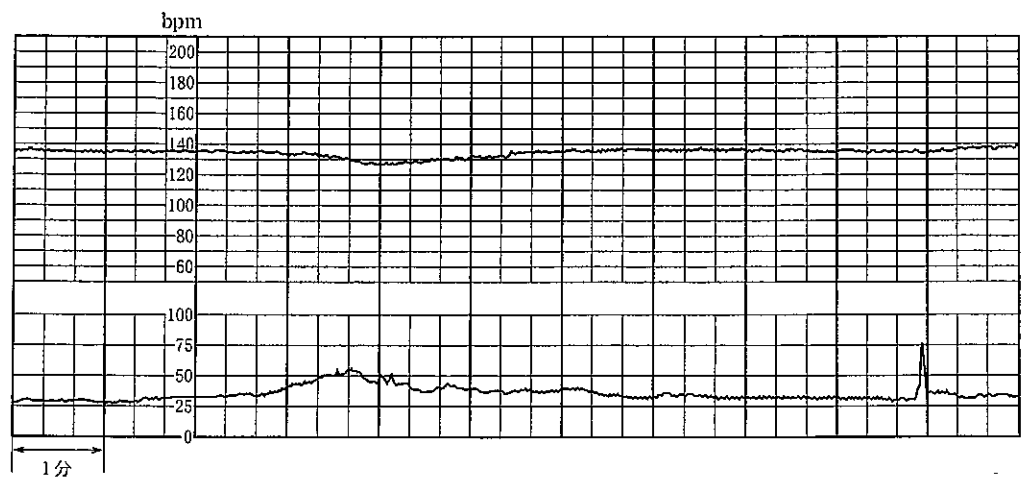


図 胎児心拍陣痛図

最も適切な対応はどれか。

1. 1 週後に NST 再検査
2. 翌日に NST 再検査
3. 入院し嚴重監視
4. 緊急帝王切開術の準備

〔問題 47〕 夫立ち会い分娩への助産師の対応で最も適切なのはどれか。

1. 立ち会いは産婦の希望よりも夫の希望を優先する。
2. 児の娩出場面は直接見せないようにする。
3. 夫婦で感動を分かち合っている場に参加する。
4. 夫が産婦への援助に関われるようにする。

〔問題 48〕 胎児ジストレス(胎児仮死)のない児の臍帯動脈血 pH の平均値はどれか。

1. 7.15
2. 7.25
3. 7.35
4. 7.45

〔問題 49〕 28歳の経産婦。妊娠37週3日で3,600gの児を分娩所要時間6時間で経膈分娩した。麦角薬を注射し、胎盤は8分後に自然娩出した。胎盤娩出直後の子宮底は臍下1横指、硬度は中、子宮底を圧すると少量の流血があった。分娩第3期までの出血量は350mlである。

このときの対応で優先されるのはどれか。

1. 静脈路の確保をする。
2. 麦角薬を静脈内注射する。
3. 腹部の冷罨法をする。
4. 絶飲食とする。

〔問題 50〕 羊水混濁がある時の出生直後の児へのケアで優先度が高いのはどれか。

1. 足底を刺激して呼吸を誘発する。
2. 鼻腔、口腔の羊水を吸引する。
3. 臍帯を切断する。
4. 酸素投与を行う。

〔問題 51〕 分娩の介助法で適切でないのはどれか。

1. 側臥位では児頭が見え始めたら産婦の上側の脚を保持し娩出を助ける。
2. スクワット(蹲踞位)は外陰部の浮腫をきたしやすいため短時間にする。
3. 努責がかかりにくい産婦に坐位を勧め娩出力を効果的にする。
4. 立位では児娩出後そのまま同一姿勢で胎盤娩出する。

〔問題 52〕 29歳の初産婦。妊娠39週5日。陣痛が発来したため入院した。入院時の内診所見は子宮口3cm開大、展退度30%、Station -1であった。2分30秒間欠、発作30秒の良好な陣痛が持続した。6時間後の内診所見は子宮口8cm開大、展退度90%、Station -1であった。

対処で適切なのはどれか。

1. 経過観察
2. エックス線骨盤計測
3. 和痛による休息
4. 陣痛促進

〔問題 53〕 妊娠 39 週 2 日の経産婦。第 2 頭位。昨日 19 時ころから 8 分間欠、発作 30 秒の陣痛があり、21 時に入院した。朝方、子宮収縮は不規則となった。9 時ころから再び 8 分間欠で陣痛が始まり、18 時現在の陣痛は 6 分間欠、発作 30 秒。内診所見は子宮口 7 cm 開大、展退度 70 %、Station -1、小泉門が 10 時に触れる。

現在の判断で正しいのはどれか。

1. 正常経過
2. 微弱陣痛
3. 回旋異常
4. 分娩遷延

〔問題 54〕 陣痛促進薬の点滴静脈内注射によって陣痛を誘発する場合の対応で適切なものはどれか。

1. 分娩監視装置を装着し過強陣痛に注意する。
2. 点滴静脈内注射を行っている間はベッド上排泄とする。
3. 有効陣痛が出現した場合、点滴静脈内注射を中止する。
4. 点滴静脈内注射は自然滴下で行う。

〔問題 55〕 胎児娩出後、胎盤が娩出されなかった。臍帯を膣入口部付近で持ち、他手は指を揃えて伸ばし、恥骨結合直上に置き腹壁上から子宮下部を押し、子宮体部を後上方になで上げた。臍帯は引き上げられないことを確認して、子宮下部を後上方に押し同時に臍帯を軽く引いた。

この方法はどれか。

1. クレーデ(Crede)法
2. ベーア(Behr)法
3. ブラント・アンドリュース(Brandt-Andrews)法
4. ジョンソン(Johnson)法

〔問題 56〕 母乳が足りていると判断できるのはどれか。

1. 生後2日で授乳間隔が6時間である。
2. 生後4日で胎便がでる。
3. 生後6日で尿の回数が4、5回/日である。
4. 生後12日で出生体重に戻っている。

〔問題 57〕 ヘモグロビン値が最も低いのはどれか。

1. 分娩直後
2. 分娩2時間後
3. 産褥3日
4. 産褥10日

〔問題 58〕 産褥7日で分泌過多による乳房緊満が強い褥婦への対応で適切なのはどれか。

1. 乳房の温電法
2. 乳房基底部マッサージ
3. 頻回の授乳
4. 授乳後の搾乳の制限

〔問題 59〕 マタニティブルーズで正しいのはどれか。

1. 産褥2週以降に発現する。
2. 妄想を伴う場合が多い。
3. 経産婦は初産婦より発症しやすい。
4. 我が国の発生率は欧米より低い。

〔問題 60〕 産後うつ病の危険因子はどれか。

1. 統合失調症の既往
2. 高学歴
3. 夫の支援の欠如
4. 高齢初産

〔問題 61〕 妊娠合併症で正しいのはどれか。

1. 糖尿病合併妊婦は妊娠中毒症を発症しやすい。
2. 気管支喘息合併妊婦の 70 % は妊娠によって悪化する。
3. 甲状腺機能亢進症は分娩後軽快する。
4. NYHA心機能分類Ⅲ度の妊婦は安全に妊娠を継続できる。

〔問題 62〕 子宮筋腫合併妊娠で正しいのはどれか。

1. 下腹痛が起こりやすい。
2. 分娩方法は原則として帝王切開術になる。
3. 疼痛にはインドメタシン坐薬を使う。
4. 産褥経過には影響がない。

〔問題 63〕 分娩状況と児の異常との組合せで正しいのはどれか。

- a. 吸引分娩 ————— 帽状腱膜下出血
 - b. 常位胎盤早期剥離 ————— 貧血
 - c. 骨盤位分娩 ————— 先天性股関節脱臼
 - d. 胎児ジストレス(胎児仮死) ———— 新生児メレナ
1. a、b
 2. a、d
 3. b、c
 4. c、d

〔問題 64〕 保育器に收容された超低出生体重児の生後 24 時間以内の管理で正しいのはどれか。

1. 保育器内の温度は 25～26℃ とする。
2. 保育器内の加湿によって児の体温の喪失を防ぐ。
3. 体温は直腸か皮膚のいずれかで測定する。
4. 頻回に児に触れて刺激する。

〔問題 65〕 生後 1 か月児の健康診査で注意すべき所見はどれか。

1. 体重増加が 25 g/日である。
2. 音のする方へ顔を向けない。
3. 時々吐乳がある。
4. 灰白色の便が続いている。

〔問題 66〕 在日外国人の妊婦に対する支援で正しいのはどれか。

- a. 1 年の在留資格があれば国民健康保険に加入できると伝える。
 - b. 国による文化に違いがあっても日本の習慣に合わせてもらう。
 - c. 母子健康手帳は交付されないと伝える。
 - d. 経済的に困窮している場合は助産施設への入所を勧める。
1. a、b 2. a、d 3. b、c 4. c、d

〔問題 67〕 合計特殊出生率はどれか。

1. (ある年齢階級の母が 1 年間に生んだ子の数/ある年齢階級の女子の人口)
× 1,000
2. (同じ母親から出生した順位別出生数/15～49 歳女子人口) × 1,000
3. (母の年齢別出生数/年齢別女子人口) の 15～49 歳の合計
4. (母の年齢別女児出生数/年齢別女子人口) の 15～49 歳の合計

〔問題 68〕 地域母子保健活動の事業と実施機関との組合せで正しいのはどれか。

1. 助産施設への入所措置 ————— 福祉事務所
2. 出生前小児保健指導事業 ————— 都道府県保健所
3. 未熟児養育医療 ————— 市町村保健センター
4. 児童虐待防止対策事業 ————— 警察署

〔問題 69〕 育児等健康支援事業の産後ケア事業で正しいのはどれか。

1. 乳房管理が行われる。
2. 7日を超えては利用できない。
3. 対象は初産婦である。
4. 事前に利用申請を市町村に行う。

〔問題 70〕 母体保護法の目的で正しいのはどれか。

1. 母性の生命健康を保護する。
2. 母子の生活支援をする。
3. 母子家庭および寡婦の福祉を推進する。
4. 母子保健事業を推進する。

〔問題 71〕 助産管理における目標管理で適切なのはどれか。

1. 組織目標より助産師個人の希望を重視した目標を立案する。
2. 助産の質を高めるような個人目標を管理者が立案する。
3. 目標の立案と同時に評価方法を明らかにする。
4. 目標の達成結果は公表しない。

〔問題 72〕 病院の産科棟の施設管理で適切なのはどれか。

1. 陣痛室は分娩台1台につき1ベッドが必要である。
2. 分娩室の広さは分娩台1台につき10 m²以上が必要である。
3. 新生児のコットの間隔は30 cm以上が必要である。
4. 褥室の個室の床面積は6.4 m²以上が必要である。

〔問題 73〕 病院における助産師外来の対象で適切なのはどれか。

1. 医師との連携に基づいたハイリスク妊婦
2. 医師が選択した妊婦
3. 自然分娩を希望している双胎妊婦
4. 既往分娩歴で経膈分娩をしている妊婦

〔問題 74〕 助産所の管理・運営で正しいのはどれか。

1. 助産所が収容できる妊産褥婦の数は10人以内である。
2. 3階以上の入所室には避難階段を1か所設置する。
3. 耐火構造であっても地階に入所室を設けることはできない。
4. 助産師が開設者であっても、開設の許可申請が必要である。

〔問題 75〕 助産業務の過失判定に採用される基準で優先されるのはどれか。

1. 法律に基づく告示
2. 現行の看護水準
3. 施設の慣行
4. 施設の物的環境

◎ 下記の欄に受験番号および氏名を記入すること。

受 験 番 号	氏 名(楷書で書くこと)